【報道関係各位】

2025 年 10 月 3 日
Carstay 株式会社

Carstay、「JAPAN MOBILITY SHOW 2025」で国内初の EV キャンピングカーや観光から防災まで役立つ車中泊キットを展示

～ EV と自動運転拡大時の“動く拠点”となる“可動産”の新しい価値提案 ～

キャンピングカーと車中泊スポットのシェアリング・サービス、車両製造、改装支援など国内最大級のバンライフ※のプラットフォーム事業を展開するCarstay株式会社（本社： 神奈川県横浜市、代表取締役：宮下晃樹）は、2025 年 10 月 29 日（水）から 11 月 9 日（日）まで東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催される「JAPAN MOBILITY SHOW 2025」に出展します。
未来都市の社会像を体感できる企画展「Tokyo Future Tour 2035」では日本初となる自社開発の EV キャンピングカー「moonn.」の実車と、組み立て型車中泊／“可動産”キット「SAny.KIT」を展示し、“動く拠点”としてのキャンピングカーの都市と暮らし、非常時の社会インフラにおける新たな価値を提案します。

「Tokyo Future Tour」は、2035 年の東京を舞台に、自動運転や EV などの先端モビリティがもたらす「移動」「暮らし」「社会」の変化を、企業横断で描き出す体験型展示です。
Carstay はその一環として、「動く拠点から、未来の“豊かさ”をつくる」をコンセプトに、未来都市で“可動産”となるキャンピングカーの役割を提示します。2035 年、都市空間では「どこに住むか」ではなく、「どこでどう生きたいか」を選択できる社会が広がります。Carstay の車中泊スポットと、キャンピングカーのシェアリング・プラットフォーム、自社製造のキャンピングカーが従来の移動・宿泊手段としてだけではなく、都市と自然をつなぐ可動する不動産「可動産」として再定義した未来、EV と自動運転が拡大したときの“動く拠点”となるキャンピングカーの新しい価値、さらに、災害時には“動くシェルター”となる社会インフラとしての役割も強調し、人と地域、自然と都市をつなぐ新しいライフラインを提案します。

出展ブースでは 2035 年の“可動産”がもたらす生活シーンを描いた「Carstay2035」のコンセプトアートの展示、実際の車両を用いた疑似体験、キャンピングカーの新しい価値を体感することができます。

Carstay は、2030 年代の日本において、観光・宿泊・災害対策・再生可能エネルギーと連動した“動く拠点”の社会的需要が拡大し、バンライフ／車中泊市場が約 5,000 億円規模に成長すると予測しています。今回の展示では可動性・未来性・持続可能性の３つを軸に、“可動産”となるキャンピングカーが都市と自然をつなぐ新しいライフスタイルを創出し、さらに非常時には“動くシェルター（避難所）”として社会インフラを補完する可能性を提示。“可動産”や“動く拠点”となるキャンピングカーは「普段は旅と暮らしの豊かさを生み、非常時は人の命を守るシェルターになる」という二重の価値を持ちます。

Carstay では、災害時の備えや、観光における快適性を高めるための取り組みとして、最短 2 時間でハイエースを DIY（自作）で可動産・キャンピングカー化できる組み立て式キット「SAny.KIT」の普及も進めています。普段は旅行やレジャー、リモートワークの拠点、自宅の別部屋としても活用できる快適な可動産キットです。
「SAny.KIT」は必要最低限のものだけを車に装備し、「旅をしながら暮らす」という新たなライフスタイル「バンライフ」を概念に、現在のキャンピングカー市場の「高価格」「長納期」「高い DIY の難易度」などを根本から覆す、誰でも手頃な価格、簡単かつ短時間で、車内を簡素な車中泊仕様に改装し、「誰でも可動産／キャンピングカーを所有できる世界」を目指し、Carstay が開発しました。

能登半島地震のような災害時には迅速に「移動できるシェルター」として地域を支え、平時には「観光をより豊かにするインフラ」として機能します。Carstay は、観光と防災を両立する新たな社会インフラの形として、車中泊文化とその利用環境の拡充を提案しています。

＜＜ Carstay 出展エリアに関する概要 ＞＞

◆ 展示期間： 2025 年 10 月 29 日（水）～11 月 9 日（日）（29～30 日は報道関係者向けの公開日）

◆ 会　　場： 「JAPAN MOBILITY SHOW 2025」（東京ビッグサイト）内の
「Tokyo Future Tour」エリアの「FUTURE OUT-DOOR LIFE」（西展示棟 1 階（西 1・2 ホール））

◆ 出展内容： ① EV キャンピングカー「moonn.」実車
② 組み立て型車中泊キット「SAny.KIT」体験展示
③「Carstay2035」コンセプトアート公開
④ 来場者限定のノベルティ配布

【EV キャンピングカー「moonn.」】

【組み立て型車中泊／“可動産”キット「SAny.KIT」】

また、10 月 31 日（金）に「Startup Future Factory」エリアで開催する「Pitch Contest & Awards」に Carstay 代表取締役の宮下晃樹が登壇します。（11:20～11:30 の間に登壇予定）

「JAPAN MOBILITY SHOW 2025」の来場者は 100 万人以上が見込まれており、Carstay は都市生活者や未来技術に関心を持つ層に向け、自社のビジョンと社会的意義を提案してまいります。

報道関係の皆様からの Carstay 出展エリアのご取材を賜りたく、ぜひともよろしくお願い申し上げます。

※バンライフ： 車を通じた旅や暮らしにより“人生を豊かにする”ことを目的として、荷台スペースが広い車“バン”を家やオフィスのように作り変え、車を働く・遊ぶ・暮らしの拠点とする新たな“ライフ”スタイル。

■ Carstay 株式会社について

Carstay 株式会社は「誰もが好きな時に、好きな場所で、好きな人と過ごせる世界をつくる」というミッションを掲げ、キャンピングカーのレンタル・カーシェアと車中泊スポットのスペース・シェアリングサービス、車両製造など、国内最大級の新しい旅と暮らしのライフスタイル「バンライフ」事業を展開する「MaaS（マース）（Mobility as a Service（モビリティ アズ ア サービス））」のスタートアップ企業です。2019 年 1 月に車中泊スポットのスペースシェア、2020 年 6 月にキャンピングカー、2024 年 12 月にテントの貸出しが可能なアウトドアカーのカーシェア・サービス「Carstay（カーステイ）」を開始。全国各地に車中泊スポットは約 300 箇所、キャンピングカーとアウトドア車両のカーシェアの登録車両は約 500 台です。2022 年 10 月には、車をキャンピングカー仕様に改造するための DIY スペース、キャンピングカーの製造・改造・修理などを手掛ける「Mobi Lab.（モビラボ）」事業も開始しました。（https://carstay.jp/）

【報道関係からのお問合わせ先】
Carstay 株式会社 広報担当
中川 生馬（なかがわ いくま）
・電話： 080-4476-1106
・E-mail： i.nakagawa@carstay.jp